

2026年7月6日

会社名 株式会社パシフィックネット
代表者名 代表取締役社長 上田 雄太
(コード番号 3021 東証スタンダード)

AI インフラ拡大を見据え、ITAD 事業の対象領域を サーバー・ストレージ・ネットワーク機器等へ拡大

株式会社パシフィックネット(本社:東京都港区、代表取締役社長:上田 雄太、以下 当社)は、ITAD 事業において、従来から主力としている PC に加え、AI インフラを支えるサーバー、ストレージ、ネットワーク機器等への対応領域を拡大してまいります。

当社は、長年にわたり LCM サービス(※1)をワンストップで提供してきた上場企業としての信頼性と、ITAD 事業(※2)で培った知見を活かし、今後、市場拡大が見込まれる AI インフラ関連機器への対応を強化してまいります。

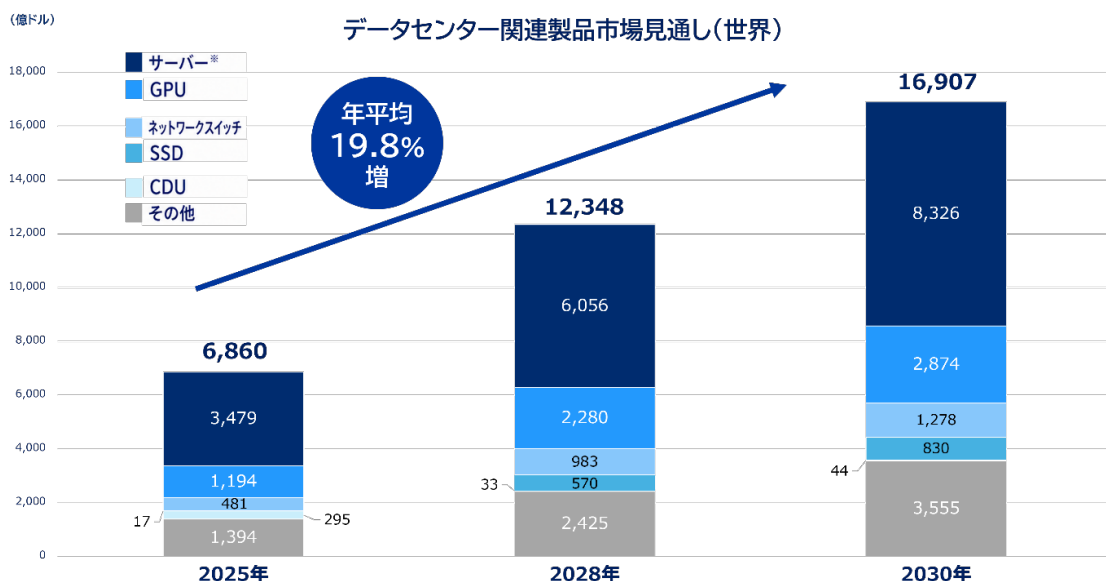
(※1)Life Cycle Management の略。PC、Wi-Fi、モバイル機器等の導入、運用・管理・使用後のデータ消去・適正処分を管理する仕組み。

(※2)IT Asset Disposition の略、IT 機器の適正処分の意味。

1. 背景

当社は、PC のレンタル、運用、回収、データ消去、リユース・リサイクルまで、IT 機器のライフサイクル全体を支援する LCM サービスを展開しています。なかでも、使用済み PC の回収以降の領域を ITAD 事業として位置づけ、知見を蓄積してまいりました。

近年、生成 AI の活用やデータ活用の高度化を背景に、企業の AI インフラは高度化・大容量化が進んでいます。一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)によると、データセンター関連製品市場は 2030 年に世界で 1 兆 6,907 億ドルとなり、2025 年比で約 2.5 倍に拡大する見通しです。



※サーバー…汎用サーバー+GPU搭載のAI型サーバー

※出典:一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)「データセンターサービスの市場見通しを発表」(2025年12月16日)をもとに当社作成

こうした AI インフラ関連機器の導入拡大に伴い、近い将来、AI サーバー、ネットワーク機器、大容量ストレージ等の更新・撤去・処分時における適切な ITAD 対応の重要性も高まると考えられます。

また、これらの機器には重要情報が保存・記録されるため、処分時にはトレーサビリティ、データ消去、適正処理まで一貫して慎重な対応が求められます。

2. サービス概要

主な対応フローおよび提供価値は、以下のとおりです。

サービス概要



3. 今後の展開

当社は、ITAD 事業において、長年にわたり PC を中心とした IT 機器の適正処分を行う中で、全国 7 拠点を活用した対応力と運用ノウハウを有しています。

今後は、市場環境の変化やお客様からの要望を踏まえ、これらの知見をサーバー、ストレージ、ネットワーク機器等にも活かし、企業の IT 資産管理における安全性、効率性および環境負荷低減に貢献してまいります。

なお、本件が当社業績に与える影響は、現時点では軽微と見込んでおります。今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかに公表いたします。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社パシフィックネット

ITAD推進部 三浦／石井

TEL: 03-6775-9564 メール: asset.support@prins.co.jp

【株式会社パシフィックネットについて】

当社は、『企業のIT支援を通し、「人々」「社会」を幸せにしたい』という経営理念のもと、各企業の多様なIT環境や要望に応じて、柔軟なカスタマイズを強みとした独自のサービスでDXを支援しています。IT機器のライフサイクルに沿った各種サービスの他、企業の様々な業務課題に対して、一緒に向き合い、寄り添った最適解を提供いたします。

会社ホームページ: <https://www.prins.co.jp/company/>